

## R7年度 藤沢市居宅介護支援事業所連絡協議会全体研修

### 「災害時の高齢者支援、平時からの心構え・準備について」 アンケート集計結果

【本研修で印象に残ったことをご記入ください。】

- ・ 市の備蓄品
- ・ 災害対策、災害時に於ける対応については改めてBCP計画等の確認が必要と感じました。
- ・ 熊本地震災害での被災者支援について
- ・ 熊本地震を体験されたCSWの方のお話がとても印象に残りました。
- ・ 実際に災害支援にあたったお話を聞いて良かった。
- ・ 災害時のケアマネジャーの対応
- ・ 災害時の個別プランの必要性
- ・ 市役所からのお話で藤沢市の災害の歴史について学べた。個別避難計画についてはもう少し具体的な話を聞きたかった。CSWさんの被災された際のお話は臨場感あり非常に興味深かった。ケアマネジャーとして何が出来るのか平時から準備していきたい。
- ・ 個別避難計画書の作成について今後どのような形になっていくのか
- ・ cswの見解
- ・ 災害時にケアマネ自身も被災するためが利用者を助けだしに行くことはできません。ケアマネとしてできることは、日ごろから利用者に備蓄や家具の転倒防止などで備えてもらうよう促すこと、また地域とつながっておいてもらう支援、あとは災害が落ち着き次第どのように安否確認等行って情報収集するかシミュレーションしておくことが大事だと感じた。
- ・ 実体験の話は参考になりました。災害の備えは大事ですが、なかなか実感がなく、起きてみてからわかることが多いと思います。
- ・ 自分や家族の安全確保後に、利用者の安否確認をどうしていくかを考えていく必要があると感じました。
- ・ 避難先で、太ってしまったとのこと。
- ・ 栄養面の課題も大きいなあと感じました。
- ・ 辻堂地区で個別避難計画作成に取り組んでいることは、とても素晴らしいと思います。
- ・ その積み重ねが、良りよい支援策に繋がっていくことと思います。
- ・ 被災地で起こった現実を身近に感じれたこと。
- ・ CSWの実体験に基づいた地域防災の内容が良かった
- ・ 藤沢市の災害発生予測
- ・ 熊本地震の実体験
- ・ 避難行動要支援者に対する支援方法
- ・ 災害時に備えての心得
- ・ 災害の現場では実際にヘルパーさんとしても安否確認など行っていたというのが印象的。
- ・ 災害の体験談
- ・ 普段から被災した時の、段取りのシュミレーションをしておく必要さ
- ・ 実際の被災地の現場の様子がリアルで参考になりました。
- ・ 実際に災害支援に関わった方の話

- ・ 熊本地震の状況について
- ・ とても勉強になりました。
- ・ 震災の現場での実際の活動

【今後研修で取り上げて欲しいテーマ（内容）がありましたらご記入ください。】

- ・ 困窮者支援
- ・ 居宅が必要視される、個別計画書の作成について、
- ・ 多職種連携
- ・ 施設の選び方(65才以上になり介護保険が優先になった障害者の方など)
- ・ リハビリについて
- ・ 老後の備えとして、お金の話が聞きたいです。
- ・ 障害福祉
- ・ 低所得世帯への支援や、ひきこもり家族問題
- ・ いつも魅力的な内容なので楽しみにしております。